

平成28年度現地検討会実施状況（木材の安定供給等）

分野	検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真												
木材利用	間伐技術研修会	10月27日	北海道森林組合連合会 留萌振興局 留萌南部森林管理署	小平町（町有林）	<table border="1"> <tr><td>国有林</td><td>12名</td></tr> <tr><td>民有林</td><td>21名</td></tr> <tr><td>事業体</td><td>5名</td></tr> <tr><td>研究機関</td><td>名</td></tr> <tr><td>その他</td><td>名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>38名</td></tr> </table>	国有林	12名	民有林	21名	事業体	5名	研究機関	名	その他	名	合計	38名	木材を正しい評価で販売できる資質を養い、所有者へ還元できる体制を整備すると共に、森林施業の集約化と搬出間伐等の森林整備を推進する	留萌管内の木材動向や木材市況について勉強会を行うとともに、現地で伐採前の立木の状態で有利な採材と品等格付けを検討のうえ、実際に伐採して、日本農林規格に基づく適切な採材・品等について更に理解を深めた。その際の意見交換では、有利採材に向けた欠点の判断（程度の把握）が難しく、樹種毎の特徴を理解しておくなどの重要性が再確認された。	
国有林	12名																			
民有林	21名																			
事業体	5名																			
研究機関	名																			
その他	名																			
合計	38名																			
木材利用	第2回地域林政連絡会議見学会	11月8日	上川中部森林管理署 上川北部森林管理署 上川南部森林管理署 空知森林管理署北空知支署 上川総合振興局	津別町(合板土場)	<table border="1"> <tr><td>国有林</td><td>16名</td></tr> <tr><td>民有林</td><td>8名</td></tr> <tr><td>事業体</td><td>名</td></tr> <tr><td>研究機関</td><td>名</td></tr> <tr><td>その他</td><td>名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>24名</td></tr> </table>	国有林	16名	民有林	8名	事業体	名	研究機関	名	その他	名	合計	24名	今後の木材の需要動向を把握するため、北海道において最大級の合板工場との意見交換を実施	合板会社から、現在の木材の仕入状況及び出荷状況を説明を受け意見交換を実施した。 川上である国有林として、どのような材を供給すべきかの検討材料とするために、意見を伺ったところ ・アカエゾマツの価格が高い ・ストロームマツやトウヒは立木購入したい ・木の皮が付いていると保管がきくため夏山を避けてほしい との意見を聴くことができた。 今後はこれらを参考に、採材等の検討材料としたい。	
国有林	16名																			
民有林	8名																			
事業体	名																			
研究機関	名																			
その他	名																			
合計	24名																			
安定供給	留萌地域林政連絡会議（現地検討会）	11月10日	留萌振興局 留萌北部森林管理署 留萌南部森林管理署	留萌市（署会議室） 留萌市（国有林）	<table border="1"> <tr><td>国有林</td><td>12名</td></tr> <tr><td>民有林</td><td>12名</td></tr> <tr><td>事業体</td><td>名</td></tr> <tr><td>研究機関</td><td>名</td></tr> <tr><td>その他</td><td>名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>24名</td></tr> </table>	国有林	12名	民有林	12名	事業体	名	研究機関	名	その他	名	合計	24名	共通課題である留萌材の有効活用など、木材の安定供給と適切な間伐による効率的な森林整備を推進するため、列状間伐に関する現地検討会を実施	国有林の列状間伐実行箇所において、施業方法、素材の生産・搬出・販売方法等について、概要説明と材の搬出状況を確認しながら意見交換を行った。 「収穫調査の方法や事業費」「システム販売の仕組みや材種ごとの主な販売先等」について活発な意見があり、国有林と道有林との施業などの方法や考え方の違いについて共有することができた。	
国有林	12名																			
民有林	12名																			
事業体	名																			
研究機関	名																			
その他	名																			
合計	24名																			
木材利用	広葉樹材の説明会	1月6日	十勝東部森林管理署	足寄町（署敷地）	<table border="1"> <tr><td>国有林</td><td>7名</td></tr> <tr><td>民有林</td><td>4名</td></tr> <tr><td>事業体</td><td>名</td></tr> <tr><td>研究機関</td><td>3名</td></tr> <tr><td>その他</td><td>名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>14名</td></tr> </table>	国有林	7名	民有林	4名	事業体	名	研究機関	3名	その他	名	合計	14名	民有林関係者の知識向上のため、森林整備に伴い伐採生産される広葉樹材の有効活用について説明会を実施	民有林関係者に対する知識の向上のため、銘木市に出品するため署の敷地に一時保管している広葉樹材を利用して樹種、採材の考え方、小口から推定される欠点等について説明。 民有林関係者からは、 ・広葉樹が列状間伐で生産されるとは知らなかった ・シウリザクラが銘木になるとは思わなかった ・現状では運賃が見合わないの、関係者で取りまとめ買い手が多い時に出品してはどうか といった感想や意見が出されるなど、森林整備由来の広葉樹の有効活用に対する意識醸成の貢献につながった。	
国有林	7名																			
民有林	4名																			
事業体	名																			
研究機関	3名																			
その他	名																			
合計	14名																			

分野	検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真	
共同施業	民国連携システム販売現地 検討会	1月20日	胆振東部森林管理署 むかわ町 苫小牧広域森林組合	むかわ町（国有林） むかわ町（町有林）	国有林	18 名	3者協定(胆振東部署、むかわ町、森 林室)に基づき、今後連携して間伐 コスト削減に向けた取組を行うた め、民国連携システム販売箇所の現 地検討会を実施	<p>現地検討会では各機関がそれぞれのメリット等について 意見交換を行い、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・むかわ町においては、補助金を使わずに立木販売で施 業できたこと ・森林組合においては、国・町の土場を共有し、同時に 施業することにより大型機械の運搬コストの削減が図ら れること ・林地の条件から見込まれる価格相当以上の販売に結び つけることができたこと <p>などを確認できた。</p> <p>他に、森林組合からSGEC認証材について、100円/m3の 付加価値をつけて取引していることも報告された。</p> <p>今後、連携した場合と連携しなかった場合のコストに ついて比較検証していくこととして、次年度以降、森林 室を含めての「民国連携システム販売」を目指すことと した。</p>	
					民有林	18 名			
					事業者	2 名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	38 名			
バイオマ ス	木質バイオマス資源供給に 係る施設見学	2月8日	空知森林管理署	新十津川町（事業者施設）	国有林	16 名	木質バイオマス発電施設等への安定 的な資源供給に係り、今後国有林に おける資源供給の取り組みの参考と するため、木質チップ製造工場の施 設見学等により実施	<p>新十津川のチップ加工拠点の調査等では、施設の概 要、チップ製造工程から運搬、資材供給に係る説明を受 けるとともに、意見交換を行い、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チップの含水率の調整について気をつけているが、供 給先の状況を踏まえ調整していること ・資材供給エリア、仕入れ調整について60km以内が基 本（必要に応じて稚内などの遠方からも供給）、他施設 と競合しないよう調整している ・1日でトレーラー7～12台分生産出来るが、実際は 原料の都合で5台分しか生産していないこと <p>などの意見があった。</p> <p>今後、署として「安定的な資源の供給に係り、国有林 のシステム販売継続の必要」「初回間伐等箇所大口ロッ ト化のため、現地森林調査時等において検討が必要なこ と」を確認した。</p>	
					民有林	名			
					事業者	名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	16 名			

現地検討会の様子

新十津川のチップ加工拠点のチップ保管
庫